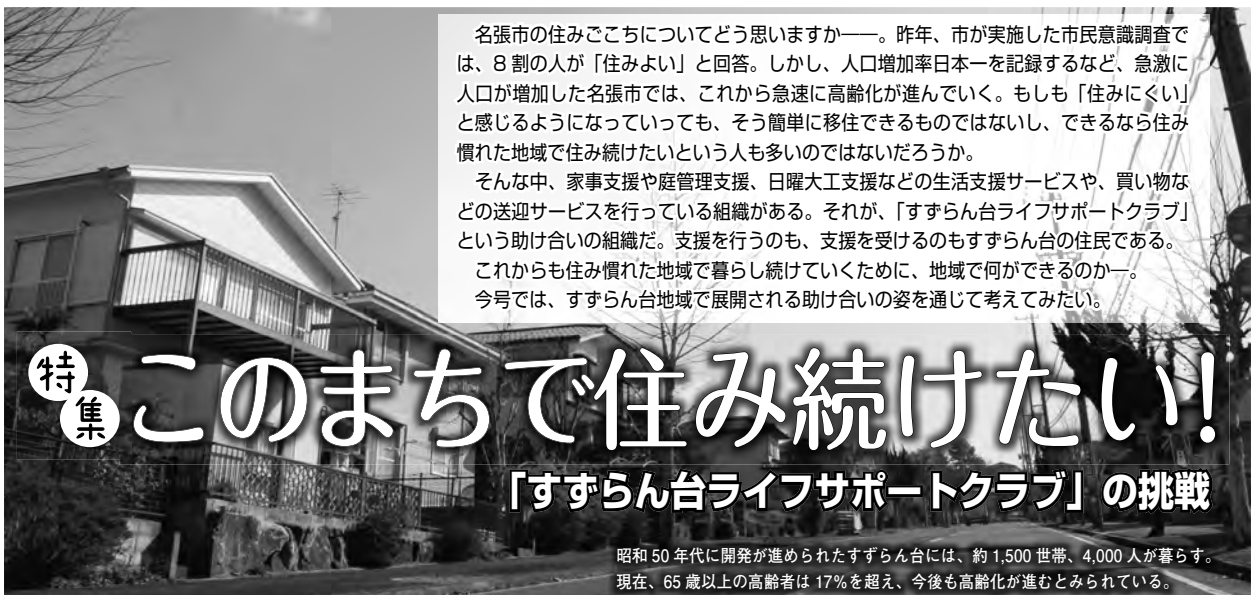


2010年(平成22年) 2月21日発行

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1
☎0595-63-7402 ㊚64-2560 ㊼info@city.nabari.mie.jp
http://www.city.nabari.lg.jp
携帯版 http://www.city.nabari.lg.jp/m_index.htm
バーコード読み取り対応の携帯電話端末から携帯版へ



▶ 主な内容 P1~3…特集 このまちで住み続けたい! P4…なぞがたりなばり講演会・年金通信



名張市の住みごちについてどう思いますか——。昨年、市が実施した市民意識調査では、8割の人が「住みよい」と回答。しかし、人口増加率日本一を記録するなど、急速に人口が増加した名張市では、これから急速に高齢化が進んでいく。もしも「住みにくい」と感じるようになっていっても、そう簡単に移住できるものではないし、できるなら住み慣れた地域で住み続けたいという人も多いのではないだろうか。

そんな中、家事支援や庭管理支援、日曜大工支援などの生活支援サービスや、買い物などの送迎サービスを行っている組織がある。それが、「すずらん台ライフサポートクラブ」という助け合いの組織だ。支援を行うのも、支援を受けるのもすずらん台の住民である。これからも住み慣れた地域で暮らし続けていくために、地域で何ができるのか。今号では、すずらん台地域で展開される助け合いの姿を通じて考えてみたい。

特集 このまちで住み続けたい!

「すずらん台ライフサポートクラブ」の挑戦

昭和50年代に開発が進められたすずらん台には、約1,500世帯、4,000人が暮らす。現在、65歳以上の高齢者は17%を超え、今後も高齢化が進むとみられている。

「一枚だけでも網戸の交換を頼めるのだろうか」「換気扇の掃除が大変だと感じている」「吹き抜けの天井の電球を換えたいが、難しくなった」「家の庭の草木がジャングルのように生い茂ってしまつて手をつけられない」。ライフサポートクラブには、月に平均5~6件、多いときには10件以上の依頼が寄せられ、支援ができる会員が依頼した会員宅へ向かう。

「暮らしの中のちょっとした困りごとは、高齢になると増えますが、業者に頼むほどではなかったりもします。そんなときに気軽に頼ってほしいのが、地域の仲間だと思ふんです」と大橋さん。

掃除や洗濯、庭木の剪定、家具の移動、電球の交換、買い物や通院……。高齢となり、昔は何でもなかったことでも、難しくなつてしまふことがある。

そんな暮らしの中の困りごとを、地域の助け合いで解決しようと活動しているのが、「すずらん台ライフサポートクラブ」(以下ライフサポートクラブ)だ。会長の大橋健さんは話す。「入居当初は小さかった庭木も、驚くほど成長しています。時が経つのは早いものですね。子どもが独立して家を離れ、夫婦2人、または一人暮らしの生活を迎える時、家の維持管理も大きな課題となつていくのです」。

Chapter 1

家事、庭管理、日曜大工、送迎…身近な暮らしの困りごとを、地域で解決!



心から喜んでいただけるので、生きがいにもつながってる! だから「お互いさま」ですよね。

◆ ◆ ◆
家事や庭の手入れなどが単にサービスとして提供されるのではない。基本は、生活を支援する住民(活動会員)とサービスを利用する住民(利用会員)が、できるだけ一緒に作業すること。そこに、住民同士の交流が生まれている。掃除や洗濯などを依頼した利用会員の菅野美代子さん(写真中央)は「家事をこなしたいけれど、足が不自由だし、火を使ったりするのも危なく感じてきたので、とても助かっています。地域の人と会うのも楽しみです」と喜んでいう。活動会員の橋本博子さん(写真右)と佐野光子さん(写真左)は、「心から喜んでいただく、自分が必要とされているんだな」と実感。これが、生きがいにもつながっているのだと思います。だから、お互いさまです。それに、将来は、わたしたちもこの制度を利用するかもしれないので、元気なうちはお手伝いしたい」と口をそろえた。

家事などを支援するサービスのほかにも、すずらん台からスパーや病院などへの送迎サービスを実施。会員からは、「家に閉じこもりがちだったが、外出のきっかけとなった」「運転免許証を返納する踏み切りがついた」「車内のおしゃべりも楽しみ」といった声も寄せられています。また、運転手が手荷物を運ぶといった細かい配慮も人気を呼んでいる。

【2ページへ続く】



特集

このまちで住み続けたい!

「すずらん台ライフサポートクラブ」の挑戦



chapter 2

地域課題を洗い出したことが活動の原点。とにかく動き出して、ダメなところは見直せばいい。

すずらん台町づくり協議会で「地域福祉活動計画」を策定する際、「まずは、地域の課題を洗い出そう」と、さまざまな議論がなされた。平成15年のことだった。その翌年には、地域住民へのアンケートも実施された。そんな中、「交通弱者への支援が不可欠」という結論に至り、送迎サービスを開始するための資金を積み立てていくことから始めていった。

日常生活に不可欠なのが買い物だが、すずらん台には店が少ない。移動を手助けしてくれた若者が独立していく家庭も増えてきた。また、路線バスがあっても、丘陵地

に造成された住宅地特有の坂が高齢者の移動を困難にしていた。もちろん、移動にかかわる支援だけでなく、家事や家の維持管理など暮らしの中でさまざまな支援を必要とする高齢者も増えていた。「当時の議論と、これに続く地域の皆さんの取組みが、現在のライフサポートクラブの基盤となっています。しっかりとした将来ビジョンを持って準備しておいてよかったです」と、当時を知るライフサポートクラブ事務局長の濱川るり子さんは振り返る。

平成20年4月、すずらん台の地域課題を解決していくために、ライフサポートクラブが活動を開始してまだ2年ほど。それなのに既にさまざまな事業が展開されているのは、事前に地域ぐるみで

「問題が出たときにどうすればいいかばかりを考えていても前に進みません。まずは動き出して、ダメなところは見直していきけばいいし、やってみないと見えてこない課題もある」と大橋さんは指摘する。特に、送迎サービスは、資金の調達をはじめ、運行ルートや時刻、事故への対処方法など課題は多い。「目的は、地域住民みんながいくつになっても、すずらん台で暮らせる環境づくり。何かとてくれるのがすずらん台のいいところかな。わたし自身も、地域の皆さんに『一人でも安心して住める町になってきた』と喜んでいただくと、やっつけてよかったと思えます」と笑顔を見せてくれた。



「とにかく動き出すことが大切」とすずらん台ライフサポートクラブ会長の大橋健さん。すずらん台市民センター内にある事務所で

＜ライフサポートクラブのサービス概要＞

生活支援サービス



生活に密着したきめ細やかな生活支援サービスとして、①家事支援サービス(掃除、調理、洗濯、買い物など)②庭管理支援サービス(剪定、草引き、草刈りなど)③日曜大工支援サービス(手すり取付、家具固定、網戸張替、障子張替など)がある。利用日より3日前の午後5時までにライフサポートクラブ事務局(すずらん台市民センター内)へ申し込む。利用料は、材料費などのほかに、作業費として、1時間まで1人700円、以降30分毎に500円を加算。交通費としてガソリン代1kmあたり50円。活動会員には、協力謝礼金として、1時間までは交通費として1回500円。1時間以上は、交通費・弁当代として1回1,000円が支払われる。なお、家に入るときは2人以上で支援を行っている。



送迎サービス
7人乗りのワゴン車で現在3つのルートを運行している。
①病院コース…すずらん台～寺田病院・市立病院 ②買い物コース…すずらん台～コメリ・ロコマート、Aコープ、青山町駅 ③ナッキー号接続コース…すずらん台～アビタなど
運行時間は、平日の午前9時～午後3時。利用するには、前日の午後5時までにライフサポートクラブ事務局に申し込む。会員は、ガソリン代相当分を負担する。現在、運転者として8人が登録。月単位で乗務計画を作成している。
なお、送迎サービスを実施しない日は、すずらん台内の各種団体に貸し出しているほか、市民センターまつりの際には、来館者の送迎に活躍している。



chapter3

「自分たちのまちは、自分たちでつくる」という 気持ちを、地域の人々まで共有することが大切 継続して活動していけるか。



経験豊富で時間的ゆとりもある団塊世代の活躍は地域社会で期待されている。活動会員として、また、送迎サービスの担い手として活躍中の古川武志さん(写真左)もその一人だ。以前は、電気関係の仕事をしていたので、ちょっとした家電修理もお手のもの。仕事を辞める前は、「仕事一本」の生活だったという。「運転中、地域の人が手を振ってくれたりすると、地域との一体感を感じますね。皆さん喜んでくれますのでやりがいもあるし、なにより楽しいです」と古川さん。写真中央は、運転手のリーダーである後藤友治さん。古川さんが運転手となったのは最近なので、この日同行した。写真右は買い物に行くために利用した小田ふみ子さん。

ライフサポートクラブでは、利用会員に「完璧を求めないでください」と説明している。家事や庭管理などは、あくまでも「お手伝い」であり、活動会員はできる範囲で活動しているからだ。また、活動会員は、地域のほかの活動にも参加していることも多く、利用者の希望の時間に合わせられないこともあるという。

一方で、「利用会員に喜ばれることで、技能を磨いていこうという気持ちに結びつけていただいているようです」と大橋さん。また、技術を持つ会員と、これから技術を身につけようとしている会員が一緒に作業を行うことで、多くの活動会員にさまざまな技術を習得してもらい、利用者のニーズに応えようとしている。

各地域で策定が進められています 10年、20年先の「地域ビジョン」

市内では、すずらん台ライフサポートクラブのように、行政だけでなく、さまざまな人や団体が地域課題に向き合いながら、多様な公共サービスを生み出し始めています(市では、このような支え合いの仕組みを「新しい公」と呼んでいます)。

そうした中、各地域づくり組織には、「地域づくり組織条例」に基づき、自分たちの住むまちの将来像を「地域ビジョン」としてまとめている地域があります。これは、10年、20年先の地域のあり方を、地域の実情に照らし合わせて、地域の人々に考えていただくというものです。市では、「新しい公」を進めていくためにも、市の各種計画や施策に、各地域の「地域ビジョン」を反映させていきます。

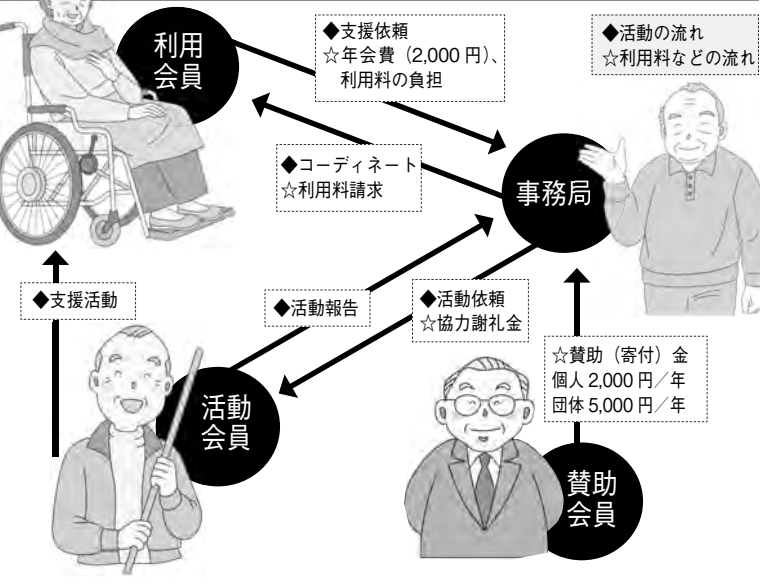
ただ、「地域ビジョン」は、地域の一部の人だけで作るものではありません。そのため、住民アンケートや住民の意見交換会などにより、多くの住民の意見を地域ビジョンに反映させようとして取り組んでいる地域もあります。

これからも「住み続けたい」まちであるために、皆さんの地域には、どんな課題がありますか？また、どんな取組ができるでしょうか？多くの地域皆さんがこの議論の輪に加わることで、もっと暮らしやすいまちをつくることにつながっていくはず。

※「地域ビジョン」について詳しくは、各地域の地域づくり組織(事務所は各地区の公民館や市民センターにあります)か、地域政策室(☎63-2186)へお問い合わせください。

を増やすことが大切だと思わなくてはならない。そのためには、多くの地域の皆さんに、会員登録していただくようにしていかねばなりません。今後も、地域のさまざまな団体と連携して取り組んでいきたい」と話してくれた。毎月開かれる運営委員会には、町づくり協議会や老人会、市民センター、民生児童委員、地区社協、そして活動会員などから委員が集まり、実績報告や課題について話し合っている。そんな中、昨年12月からは、個人や団体(企業など)に活動を応援してもらうための「賛助会員」を募っていただくことになった。

＜ライフサポートクラブ 助け合いの仕組み＞



参加費 1,000円 申込 2月28日までに電子メール omoshikids@omai.co.jp
電話番号 生年月日を、おもしろいことなまふ(石谷) 63-20108 夜間(5時)先
日時 3月7日(日) 午前9時~正午
場所 つつじが丘公民館 定員 30人
フアンズ(63-53226)で、氏名郵便番号、住所、

年金通信

国民年金の納付は、**口座振替で最大3,800円の割引に**

平成22年度の国民年金の保険料は、**月額15,100円(22年4月分~)**

- ★1年度分保険料を納付書で月々現金納付すると…
15,100円×12ヵ月= **181,200円**
- ★1年度分(4月分~翌年3月分)の保険料を口座振替で前納すると… **177,400円(年間3,800円の割引)**
※4月末に口座より一括で引き落とします。
- ★6ヵ月分(4~9月分、10月~翌年3月分)の保険料を口座振替で前納すると… **6ヵ月分の保険料が89,570円(6ヵ月で1,030円割引、年間2,060円の割引)**
※4~9月分は4月末・10~3月分は10月末に口座より一括で引き落とします。

★口座振替の毎月振替(早割)で納付すると…
初回のみ2ヵ月分を引き落とし、50円割引となります。
次回からは、**毎月の保険料から50円割引**となります。

口座振替の申込 前納は、①1年度分および上期6ヵ月分(4~9月分)は2月末まで ②下期6ヵ月分(10月分~翌年3月分)は8月末までに、お早めに年金事務所か、金融機関(郵便局含む)に申し込んでください。詳しくは、津年金事務所(☎059-228-9188)へお問い合わせください。なお、既に口座振替で前納している人は、申込不要です。

★クレジットカードでも納付できます
希望者は、津年金事務所へお申し込みください。申込用紙は市役所1階保険年金窓口にもあります。 ※口座振替による毎月振替(早割)は適用されません。また、現金納付の割引額となります(1年前納で177,980円、6ヵ月前納で89,860円)。

★★★★★★ 年金相談をご利用ください ★★★★★★
日時 3月9日(日)・23日(日)午前10時~午後3時(受付は午後2時45分まで) 場所 産業振興センターアスパ(南町)
☎ 保険年金室 ☎63-7445

4月から肝臓機能障害による身体障害者手帳が交付されます
☎ 高齢・障害支援室 ☎63-7591

対象 ▼肝臓機能障害が回復困難で、日常生活に支障をきたしている人 ▼肝臓移植を受け免疫療法を受けている人
※認定基準に該当するかは、かかりつけ医などにご相談ください。
申請 3月1日(日)受付開始。市役所1階高齢・障害支援室で配布する申請書と診断書に必要事項を記入の上(診断書は身体障害者手帳指定医が記入のこと)、写真2枚(縦4cm×横3cm)とともに同室へ提出

日時 3月21日(日)午後1時~5時
場所 産業振興センターアスパ(南町)
定員 150人 ※先着順
入場料 1,000円 ※18歳以下500円
入場券 ▼2月21日(日)から図書館、市民情報交流センター(希央台)で、2月22日(日)から市役所4階地域経営室で販売 ▼往復はがき(〒518-0704 鴻之台4-56 テクノ鴻之台店などがたりなばり係)でも申込可。住所、氏名、電話番号、必要枚数を明記 主催 乱歩蔵びらきの会 協賛 社日本推理作家協会
☎ 地域経営室 ☎63-7484

乱歩に関する資料展示、**【同日開催】乱歩黒テントの世界**
紙芝居、朗読など 場所 乱歩生誕地碑広場(本町)
☎ 乱歩蔵びらきの会(的場) ☎62-5111

【講師】
「神楽屋安福班」原作者
ドラマ「ハンチョウ」
今野敏

第19回なぞがたりなばり講演会

演題「謎の魅力」

青少年センターリニューアルオープン記念事業

【謎の闇 名張市議会】 ☎ 青少年センター ☎64-3478
~子ども対象のワークショップを同時開催~

日時 3月28日(日) ▼午後零時30分~ワークショップ
▼午後1時~解説 ▼午後1時15分~ 狂言
入場料 一般2,000円 高校生以下800円
※当日200円増。未就学児の入場はご遠慮ください。
名張能楽振興会主管 日時 3月21日(日) 午後1時~
【謡曲狂言大会】 入場料 無料

ワークショップ体験者募集
対象 高校生以下 ※チケット購入者。未就学児不可
申込 3月10日(日)までに、住所、氏名、年齢、電話番号を電話かファクス(64-8321)で問い合わせ先へ ※定員10人。申込多数の場合は抽選

「とみに生きる トーク&コンサート」を開催

☎ 障害者相談センターなびっと ☎66-1234 (はなの里) ☎67-0088 (パレット)
日時 3月6日(日) 午後1時30分~4時 場所 武道交流館いきいき(蔵持町里) ※参加無料。申込不要
※午後1時~受付

「名張市なぎなた大会」参加者募集

☎ 名張市なぎなた協会事務局(大森) ☎65-2023
日時 3月27日(日) 午前9時30分~ 参加費 500円(当日徴収)
※午前9時~受付 申込期限 3月6日(日) ※申込方法など
場所 武道交流館いきいき(蔵持町里) 詳しくは問い合わせ先へ

「離乳食教室」参加者募集

☎ 健康支援室 ☎63-6970
日時 3月3日(日) 午後2時~3時30分
場所 保健センター(朝日町)
対象 離乳食を始めて3~4ヵ月が経つお子さんのいる人
内容 離乳食の進め方の説明と試食、「栄養のバランス」「おやつ」の話
持ち物 母子健康手帳、筆記用具
申込 電話で問い合わせ先へ

◎広告掲載についてのお問い合わせは広報対話室(☎63-7402)へ

ケーブルテレビで始める
デジタル放送
お気軽にお問い合わせ下さい。
株式会社 アドバンスコープ **0595-64-7821**

名張唯一 新屋根材「ROOGA」ショップ
ルーガ(クボタ松下外装)
三菱太陽光発電システム
屋根に関するあらゆるご要望にお答え!
雨漏り修理から葺替えまで
外装リフォーム全般もOK
見積り・点検 無料! 実績と信頼 一つ上の安心

かわら しょう
瓦 勝
〒518-0752 名張市蔵持町原出581番地
電話(0595)61-2204 FAX(0595)62-0250
E-mail katsuyoshi@kavarasho.jp
http://www.kavarasho.jp
一級建築士 生産専攻建築士
代表者 岩見勝由

ハウスクリーニング(キッチン、バス、トイレ、ガラス他)
エアコンクリーニング・床フローリングワックス掛け
ビル清掃管理サービス・家事代行サービス
害虫駆除(白アリ、ゴキブリ、ねずみ、ハチ)
庭木管理サービス・マット モップ 空気清浄器他レンタルサービス
ダスキンエスプリ
TEL65-8411 名張市新田1249-4

公共下水道・集落排水への切替工事
水廻りから、暮らしをもっと快適に

三重県知事許可(管工事業・建築工事業)
名張市指定工事店
TEL: 63-2525
〒518-0734 名張市黒田1414-2
見積り無料! お気軽にご相談ください
FUKUTA 住宅設備・増改築 設計・施工

バリアフリー・耐震補強など、リフォーム工事も請け賜ります

次号予告 「子どもを預けたい」ときの心強い味方を紹介